

## 教育目標

○よく考えくふうする子      ○思いやりのある子      ○つよい心と体をもつ子



# 忠生小だより

町田市立 忠生小学校  
校長 三好 浩一  
2022年度2月号  
令和5年1月27日 発行

## 自立を目指した「個別」と「集団」での学び

特別支援学級（いずみ学級）担任  
特別支援教育コーディネーター  
教諭 関谷朋真

### 《個別の学び》

いずみ学級が目指している大きな柱が「自立」です。将来、社会の中で働き、自分の力で生活していくための様々な知識・技能・生活習慣などを、授業や日常生活の中で学習しています。

現在、学級には1年生から6年生の22人が在籍していますが、一人一人、「学びのニーズ」は異なります。教科学習の内容や学びのペースはもちろんですが、「衣服の着脱、身だしなみ、整理整頓、挨拶」といった日常生活の内容、その他にも忘れ物をしないよう「予定の確認」をすることや、こだわり過ぎてしまう場合には「気持ちの切り替え」や「時間に合わせて行動する」といったことも、学ぶ内容の一つです。学級では、そのような「個別」のニーズに合わせた支援・指導を目指しているところです。

### 《集団の学び》

一方で、「集団」の中で学ぶからこそ身につけられる力も大切にしたいと考えています。いずみ学級は、複数の学年で学級編成されており、日常的に高学年が低学年のお手伝いをする場面が数多くあります。4月、入学して間もない新入生に対しては、いずみ学級の先輩達もお手伝いの仕方がまだ分からない様子ですが、次第にお互いのことがよくわかるようになってくると、上手な子はまるで担当の先生のような安心感をもって支援してあげられるようになり、自然と子供達が集まってきます。6年生が遊びを企画する「縦割り遊び」の時間も、いかに1～5年生を楽しませられるかの、腕の見せ所です。また、低学年の子供達にとっては、そのような関りの一つ一つの経験が、近い将来自分が高学年になった時のロールモデルになっていきます。

「関わり合い」の中で、子供たちは多くのことを学んでいきます。スキップが好きな子、苦手な子。音に敏感な子や、周囲に関係なく自分の作業に没頭する子。様々な「得意」と「苦手」が混在している集団だからこそ、学び合いのチャンスがたくさんあります。うまくいった経験も、うまくいかなかった経験も、他者との様々な関わりを通して、少しずつ、相手の気持ちを尊重し、他を思いやることができるようになっていくのではないのでしょうか。いずみ学級も、そのような学習ができる「集団」でありたいと思います。

## 【行事予定について】

日にち	曜日	2月の主な行事
1	水	特別時程 安全指導
2	木	
3	金	新一年生保護者会 ★
4	土	
5	日	
6	月	児童朝会 委員会活動(5・6) 心のアンケート始
7	火	避難訓練
8	水	特別時程 午前授業
9	木	児童集会
10	金	川上村移動教室保護者説明会(5) 町田市小学校書写展始 心のアンケート終 ★
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	クラブ活動(4・5・6) クラブ見学(3)
14	火	いじめ対応チーム
15	水	特別時程 午前授業
16	木	縦割り遊び
17	金	★
18	土	
19	日	町田市小学校書写展終
20	月	クラブ活動(4・5・6)
21	火	情報モラル教育(5)
22	水	特別時程 午前授業
23	木	天皇誕生日
24	金	情報モラル教育(6) ★
25	土	
26	日	
27	月	保護者会(5・6) 巣立ちの会(6)
28	火	保護者会(3・4・い・く) 川上村移動教室事前検診(5)

★ スクールカウンセラー勤務日

※( )の数字やひらがなは、学年・学級名を表しています。

## 【諸連絡】

### 【研究の窓】2023年度の研究発表会に向けて

忠生小学校は、研究主題「豊かな心を育む授業の創造を目指して」をテーマに研究を進めています。今年度の成果と課題を整理し、次年度の研究発表に向けて今年度のまとめを進めています。

#### ○成果

- ・疑問、驚きのある資料、精選した資料を効果的に使うことによって、目標を見据え、意欲的に調べ学習や追究活動に取り組む姿が少しずつ見られるようになってきた。
- ・意図的な交流活動(制作活動・話し合い活動)をさせることで、ぶつかりあい、共感の場面が生まれ、譲り合い、折り合いをつけて話し合う姿が少しずつ見られるようになった。
- ・人材育成を踏まえたワークショップ研修を行い、職層、経験年数を越えた教員の指導力向上及びコミュニケーション作りに生かすことができた。校内研究で得られた学びを自分の学級の実践をもとに話し合えたことは、教員自身も自分事として捉えることにつながった。

今年度の成果を踏まえ、次年度は、町田市が掲げる研究の手立てである

- ① 見通しをもたせる導入の工夫
- ② 価値ある対話の共有
- ③ 振り返りの設定

を軸に、次年度の研究を重ねていきます。

### 【体力向上に向けて】

子供たちの体力向上のため「なわとび」に取り組んでいます。本校では低・中・高学年ごとに「なわとびチャレンジカード」を作成しました。授業中や休み時間などに校庭でなわとびをする児童が増えました。放課後や休日など、ご家庭でも声かけをしていただくようお願いいたします。なわとびを通じて、体力向上はもちろん、粘り強く取り組む力を育成できればと思います。

※感染症等の拡大状況により、予定されている行事等の内容が変更・延期、場合によっては中止となる事もございます。変更の場合は、一斉メールと学校ホームページにてお知らせいたします。